



華となれ

宮城県仙台二華中学校

令和5年度学校だより第14号

【発行日】 令和6年2月6日

【連絡先】 022-296-8101

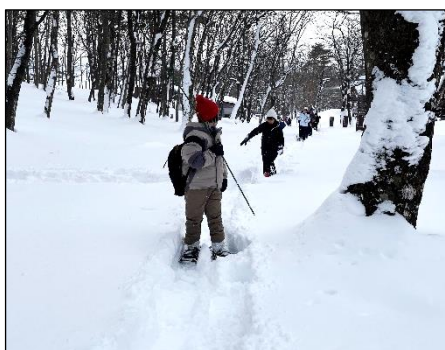
【文責】 副校長 武田 誠

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ」には、社会に貢献できる真のリーダー（華＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

学校を出て学びを深めてきました



1年生は、1月26日（金）に泉ヶ岳で、今年度3回目となる巡検を行いました。2日前の寒波がもたらしたふかふかの新雪の中、午前中はフィールドワークで我々の木の観察を行い、冬のデータを採集しました。雪をかき分けながら、秋からの変化を丁寧に計測し、ポイントを絞った観察ができていました。1年間の木々の成長をしっかりと感じ取ることができたようです。

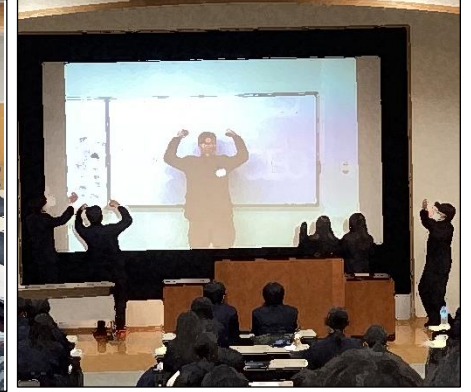
午後の野外活動では、スノーシューを履いてスノーハイクを行い、70cmを超える新雪を踏みしめる貴重な体験ができました。普段見慣れない積雪量に子どもたちの気持ちも高まり、歓声を上げて雪と戯れる姿が印象的でした。



3年生は、1月29日（月）に子ども体験プラザ「ファイナンスパーク」で学習してきました。ファイナンスパークは、協賛企業等の店舗や事業所等を模したブースからなる「街」を再現した施設で、家族・収入など与えられた条件の中で、さまざまな商品やサービスの購入・契約などを体験し、情報を適切に活用する力や生活設計能力などを学びます。

与えられた条件の下で、自分（と家族）の生活設計をリアルに追求していくプログラムを通し、数年後に迎える社会人としての生活の一端を垣間見ることができました。「色々なことを考えないと生活って成り立たない」「行き当たりばったりでなく、計画することの大切さが分かった」などの感想が聞かれました。3年生の保護者の方にも、サポートスタッフとして生徒の活動を助けていただきました。ありがとうございました。

学校を出て学びを深めてきました



2年生は、1月31日（水）から2泊3日で、富谷市の東北自治総合研修センターを会場にイングリッシュキャンプを実施しました。19名のALTを講師に、基本的にオールイングリッシュで課題をこなす3日間を体験するプログラムとなっており、朝8時半のグループワーク開始から夜8時半の終了まで、文字通りの英語漬けの学習を経験しました。

研修では、SDGsの達成に向けての議論や、話し合った結果のプレゼンテーション作成などに取り組み、最終日にはグループ毎に英語で発表しました。グループの話合いでは、一人一人がCEOやリーダー、デザイナーなどの役割を果たし、ALTとの会話や仲間との英会話を通し、より良い発表を目指して議論を深めました。

ALTには最終日のプレゼンテーションを審査していただき、それぞれのグループの活動に対して、熱心な取組や成果を褒めていただきました。また、これからも英語を日常的に使って積極的にコミュニケーションを取っていく姿勢の大切さについてもお話しいただきました。今後の学校生活の中でも、この経験を積極的に生かしていく事を願っています。

中学アドバンステスト終了

1月25日（木）・26日（金）に中学3年生が5教科で、1月29日（月）には1・2年生が国語・数学・英語の3教科の試験に臨みました。

本校では、思考力・判断力・表現力を試すハイレベルな問題に挑戦することで、全国レベルで実力を知り、将来の大学進学に向けた具体的な目標設定に役立てています。



1月1日に発生した能登半島地震につきまして、被害に遭われた方々、また、現在も避難生活が続いている方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

仙台二華中学校・高校では、今回の震災に際しまして、被災された方々を支援し、また、復興に役立てていただくため、中高生徒会とJRC部が中心となって義援金募金活動を行いました。生徒や保護者の皆さんから、1月29日からの3日間で、合計183,851円の寄付をいただきました。お寄せいただいた義援金は、全額日本赤十字社へ寄付いたします。御協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。